

「生活提案型企業シミュレーション(生き残り企業像の模索)」調査結果概要

1. 実施者

社団法人千葉県エルピーガス協会

2. 調査概要

(1) 目的

LPガス販売事業者の構造改善に資するものとし、これからのエネルギー事情と日本の環境問題を視野に入れ、「これからのエネルギー産業の中で生き残りが出来る企業像」を描くと共に、採算性を考えた企業シミュレーションを行い、企業設立乃至はグループ化を推進することにより液化石油ガスの安定的かつ低廉な供給の確保を図ることを目的とした。

(2) 実施方法

当協会内に委員会等を設置し、コンサルタント会社と業務委託契約を締結し、適宜アドバイスを受けながら事業を実施した。

3. 調査結果概要

昨年度FS調査事業の評価報告に基づき、「これからのエネルギー産業の中で生き残りが出来る企業像」のシミュレーションは、「現在のLPガス料金水準」を基に「地域を限定する等」の前提で行った。

今後LPガスの価格が下がるという前提を肯定した場合、国のエネルギー政策を考慮すると集約化あるいはグループ化による合理化を図ることが必要であると考えられる。

調査地域は、昨年度FS調査事業の提案支部であること、都市ガスの供給が行なわれていない地域であるため機能集約化モデルとして取り組みやすいことから香取支部エリアを設定し、「お客様アンケート調査」と「調査地域と環境事業調査」を行なった。

お客様アンケート調査は香取支部販売事業者の顧客リストから無作為に抽出した3,000件に支部会員がアンケートを配布し郵送で回収を行なった。

またFS調査事業の報告書作成にあたり県内15支部において報告委員会を開催し、ご意見をいただき「生活提案型企業のシミュレーション～生活提案産業への挑戦(エネルギー編)～」を作成し、協会全販売事業所に送付した。

4. 調査結果から得られた効果

当該事業報告書に基づき、報告委員会を開催した。その結果、LPガス産業がエネルギー業界の中で取り残されないためには、企業設立乃至はグループ化によるコスト削減等により競合エネルギー産業(企業)と互していけ、かつ、消費者から理解を得られる適正なLPガス料金体系が必要であることが認識されうる土壌が醸成された。一方、集約化を好まないLPガス販売事業者は、新たな商品を消費者に提案することによりLPガス価格の低廉化に耐える経営基盤強化の必要性が認識されたものと思われる。

5. 調査結果の今後の活用、調査結果を踏まえた今後の取り組み

平成15・16年度の構造改善事業は、これからのエネルギー産業の中で生き残りが出来る企業像を描くことがテーマでしたが、今後の事業展開としては本報告書を参考としてLPガス業界のイメージアップのため、販売事業者だけでなく従業員の資質の向上を図ることが出来るようなセミナーを行なう予定です。

6. 補助金確定額

20,268,917円